

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日:令和 3 年 2 月 5 日

公表:令和 3 年 3 月 5 日

事業所名 放課後等デイサービス 青空

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	10	1	・スペースは法令を尊守して確保しています。	
	2	職員の配置数は適切である	11	0	・基準人員よりゆとりを持って配置しています。 ・基準より多い人数で支援しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	6	・バリアフリーではないものの安全に対する配慮はしている。 ・利用者に合わせて安全に配慮しています。	・必要があれば改善する予定。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	9	1	・職員会議の中で業務についての話し合いをしています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	11	0	・初年度より、評価アンケートを実施して少しずつですが業務改善に取り組んでいます。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	11	0	・ホームページに公開させて頂いています。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	7		・第三者評価は行ってないため、今後検討したいと思います。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	11	0	・コロナ渦は社内研修を行っています。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	11	0	・アセスメントやモニタリングの用紙や内容も見直し改善しています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	2	・児童発達管理責任者は共通のアセスメントツールを使用してツールの改善を行っています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	7	4		・指導員で話し合って案を出してメリハリのある活動が出来るようにしたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	3	子どもの成長に合わせて(興味、関心)遊び、支援を考えています。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	4		・大まかな設定になっているので、活動の課題を決めて行いたい。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	9	2	・子どもの課題に合わせて行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	4	・朝礼に限らず、随時状況に応じた対応が出来る様に話し合っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	9	2	・終礼に限らず、随時状況に応じた対応が出来る様に話し合っています。 ・意見があった時には振り返りノートを活用して職員に周知しています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	11	0	・記録を取ってモニタリングで支援内容を改善している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	11	0	・しっかりとモニタリングをし、計画の見直しをしています。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	9	2	・音楽活動、季節の工作、昼食の買い物、外食の選択自由遊びなどの支援を行っています。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	11	0	・代表者、管理者、児発管が必ず参加しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	11	0	・出来る限り学校と連携を取り、迎等の確認をしています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	6	5	・出来る限る対応させてもらってます。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	9		・前例がありません。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	3	・ほいっぶの先生と連携して子どもの支援を行っている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5	6		・コロナ渦の前は交通児童館や近所の公園に行ったりしていた。コロナが落ち着き次第、行く機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	6	5	・事業所の代表が参加しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	11	0	・送迎時やお迎え時、連絡帳で交流しています。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	7		・特別にトレーニングする対象者はいません。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	11	0	・しっかりと説明をしてから契約をしています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	11	0	・相談には柔軟に対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	9		・施設発信ではやる予定は無いですが、保護者の希望があれば検討したいと思います。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	11	0	・苦情等があった場合は必ず上司に連絡しすぐに対応しています。また報告書を作成して今後の対応を、職員間で周知徹底しています。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	11	0	・あおぞら通信を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意している	11	0	・外部に持ち出さないよう注意しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	11	0	・学校や家庭での状況を聞いて内容を共通理解しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	6	5	・地域の公民館等を使用して行事を行っています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10	1	・必要なマニュアルを作成して職員や保護者に配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	11	0	・定期的に訓練を行っている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	9	2	・今年は研修を行っていません。昨年は外部研修に参加しています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	10	1	・必要な子どもの保護者に確認と了承を得ています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	1	・アレルギーのある子どもについては保護者に確認しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	11	0	・職員全員周知しています。	